

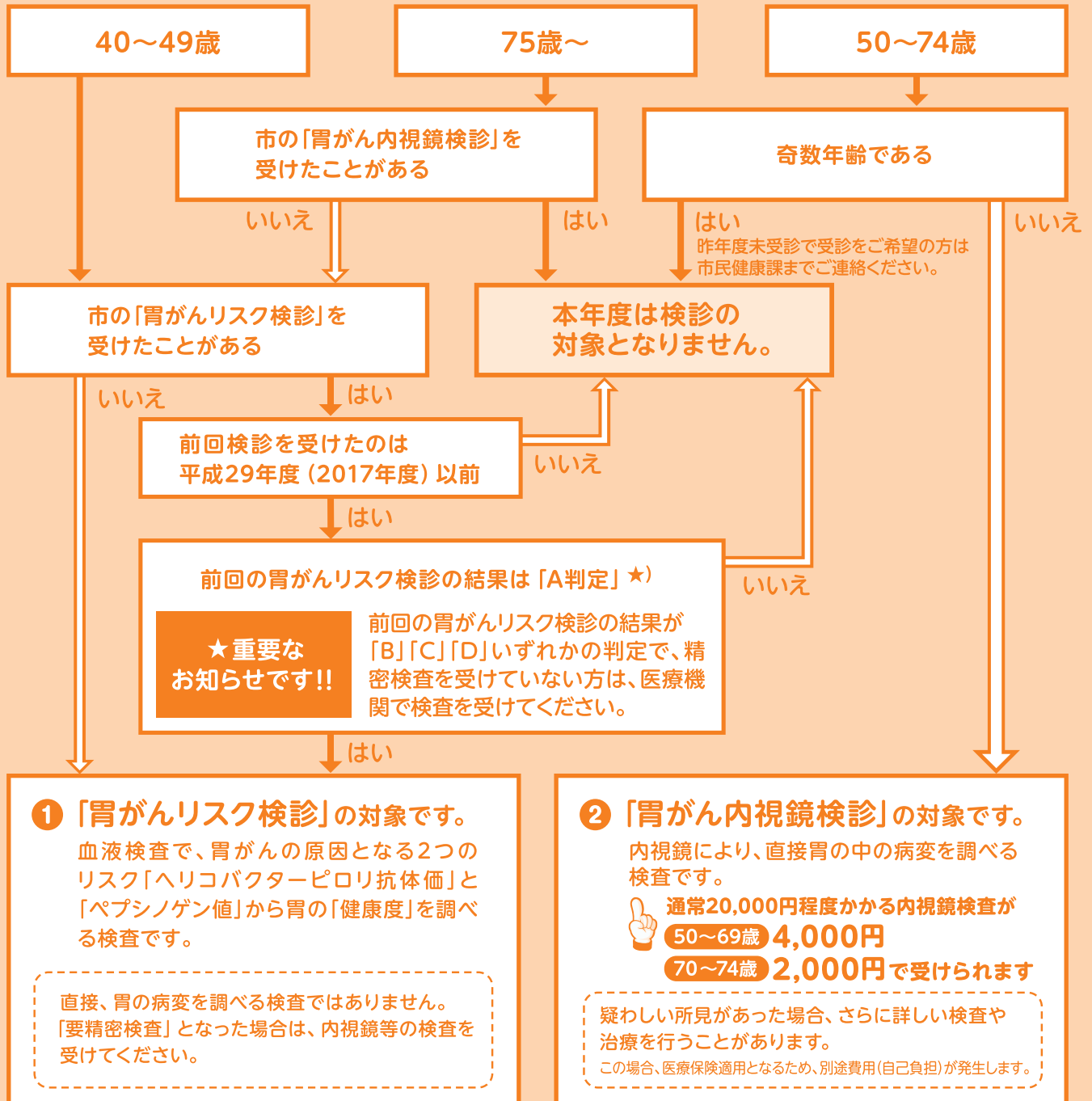
# 胃がん検診は、年齢によって検診方法が異なります

フローチャートでご確認ください。

令和4年度から、胃がん内視鏡検診の対象を74歳まで拡大しました。昭和25年(1950年)以前にお生まれの方は、他の年代に比べ、幼少期のピロリ菌感染のリスクが高いといわれています。ぜひこの機会に受診をご検討ください。

check!

令和5年(2023年)3月31日時点の年齢は？



【注意事項】胃がんリスク検診を受ける方は事前に医療機関で検診の必要性を確認してください。

- これまでに、食道・胃・十二指腸の病気(ピロリ菌除菌を含む)で、治療を受けたことがある方
- 定期的に内視鏡検査などの胃の検査を受けている方
- 胃の手術をしたことがある方
- その他、治療中の病気がある方

★「胃がんリスク検診」は原則的に、一生に一度でよいとされています。平成29年度(2017年度)以前の検診で「A判定」だった方がリスク検診を希望する場合は、かかりつけ医や検診実施医療機関にご相談ください。

